

施策評価シート（平成25年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	3-5	政策名	芸術文化の振興	政策の 目指す姿	地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、芸術文化に親しんでいます	施策 主管課	生涯学習交流課	施策主管 課長名	市川 清志
	施策No.	2	施策名	先人の顕彰	施策の 目指す姿	郷土の先人の功績を理解しています	関係課名	賢治まちづくり課		
	現状と課題	・宮沢賢治、高村光太郎、萬鉄五郎など全国的に有名な先人のほか、市民に知られていない花巻ゆかりの先人が数多くいます。 ・先人をテーマに取り上げた市民講座を開催しているほか、地元学・ふるさと学等として自主的に郷土の歴史や先人を学ぶ機会を設けている例もありますが、功績の調査や顕彰活動、新たな先人の掘り起しが十分できていない状況にあります。 ・花巻を代表する先人宮沢賢治は、世界各地で多くの方に評価されており、この先人に焦点を当てた取り組みが各地で行われています。								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

(1)郷土の先人に対する理解の促進 ○先人顕彰施設の展示内容や企画展の充実 ・各館企画展事業 ○市民講座、セミナー等の開催 ・セミナーの開催 ○先人顕彰施設の環境整備 ・高村光太郎記念館整備事業 (2)賢治さんの香りあふれるまちづくりの推進 ○賢治関連施設の環境整備 ・賢治記念館整備事業 ○賢治さんを感じることができる場の充実 ・賢治ゆかりの地案内板整備事業 ○賢治関連催事の充実 ・セミナーの開催 ○賢治関連情報発信の充実 ・賢治カレンダー

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
この1年間に宮沢賢治記念館等の市内の先人顕彰施設を訪れたり、郷土の先人に関するイベントに参加した市民の割合	郷土の先人の功績について理解するため、市民が先人顕彰施設を訪れたり、先人に関するイベントに参加しているか、その状況を示す指標	出典:まちづくり市民アンケート【新規】 問:あなたは、昨年1年間に市内の先人顕彰施設(宮沢賢治記念館、花巻新渡戸記念館、萬鉄五郎記念美術館、宮沢賢治イーハトーブ館、宮沢賢治童話村、高村光太郎記念館等)を訪れたり、郷土の先人に関するイベントに参加したことがありますか? (1)ある (2)ない (1)と答えた市民の割合	%	目標値				32.0	34.0	36.0
				実績値	—	31.4	30.2			
日常の生活の中で宮沢賢治の作品や考え方に触れる場があると思う市民の割合	賢治さんの香りあふれるまちづくりは、「賢治を学ぶ場づくり」、「イベント開催による交流人口の拡大」、「賢治の香りあふれるまちの整備」、「情報発信・PRツールとしての商品開発」の4分野の事業で構成しており、これら全ての分野の事業成果が市民に享受されているかを示す指標として設定	出典:まちづくり市民アンケート 問:市では、「賢治さんの香りあふれるまち」づくりを推進することとしていますが、あなたは、日常生活の中で宮沢賢治の作品や考え方に触れる場があると思いますか? 次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。 (1)十分あると思う (2)あると思う (3)あまりないと思う (4)ないと思う (5)わからない 成果指標は、(1)及び(2)と答えた市民の割合	%	目標値				62.0	64.0	65.0
				実績値	47.2	43.0	60.0			

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
	・先人に関する意識は若干減少しているものの、宮沢賢治に関する意識は高い。先人に関するPRの強化不足。賢治に関しては没後80年事業により再認識されたと考える。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	貢献度の判断理由
	事業内容(実績)			
1-1	賢治のまちづくり推進事業	賢治まちづくり課	B	市民がより賢治を理解できる機会を設けることは賢治のまちづくりに必要。
	賢治セミナーやワークショップ等の開催と、賢治に関する情報の発信など。			
1-2	賢治のまちづくり推進事業	文化会館	B	話題性のあるイベントにより、新たな層に関心を持ってもらうことができた。
	賢治没後80年事業として、「イーハトーヴ交響曲」演奏会を開催。入場者数943人。			
1-3	賢治のまちづくり推進事業	生涯学習交流課	B	市民がより賢治を理解できる機会を設けることは賢治のまちづくりに必要。
	賢治セミナーの開催。全10回、受講者延べ453人。			
1-4	賢治のまちづくり推進事業	宮沢賢治記念館	B	市民がより賢治を理解できる機会を設けることは賢治のまちづくりに必要。
	企画展やセミナーを開催。ほか「世界における宮沢賢治シンポジウム」開催、600人参加。			
1-5	賢治のまちづくり推進事業	宮沢賢治イーハトーブ館	B	市民がより賢治を理解できる機会を設けることは賢治のまちづくりに必要。
	企画展やセミナー、講演会を開催。			
2	先人顕彰推進事業	生涯学習交流課	B	各館共同開催でのPR活動により、興味を持ってもらうために実施。
	先人顕彰各施設で共同企画展を開催。8館。			
3	新渡戸記念館企画展示事業	花巻新渡戸記念館	B	新渡戸氏をはじめとする先人の紹介もしている。
	特別展の開催ほか、イベントを開催。			
4	高村光太郎記念館整備事業	生涯学習交流課	A	高村光太郎を紹介するためには、必要な施設。
	花巻歴史民俗資料館を改修し、新たに市営高村光太郎記念館を整備する。25年度プレオープン。			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

(新たに取り組むべき事業はないか)

6 施策の総合的な評価

(課題)

・宮沢賢治以外の先人の知名度を高める必要がある。

(今後の方向性)

・新たな先人を発掘するとともに広報や企画展などで紹介を図る。